



Create & Challenge
「創造と挑戦」



2011年3月期第3四半期

証券コード:7467

萩原電気株式会社

2011年3月2日

- 決算のポイント
- 2011年3月期第3四半期決算概要
- 2011年3月期業績見通し
- 今後の取り組み

決算のポイント

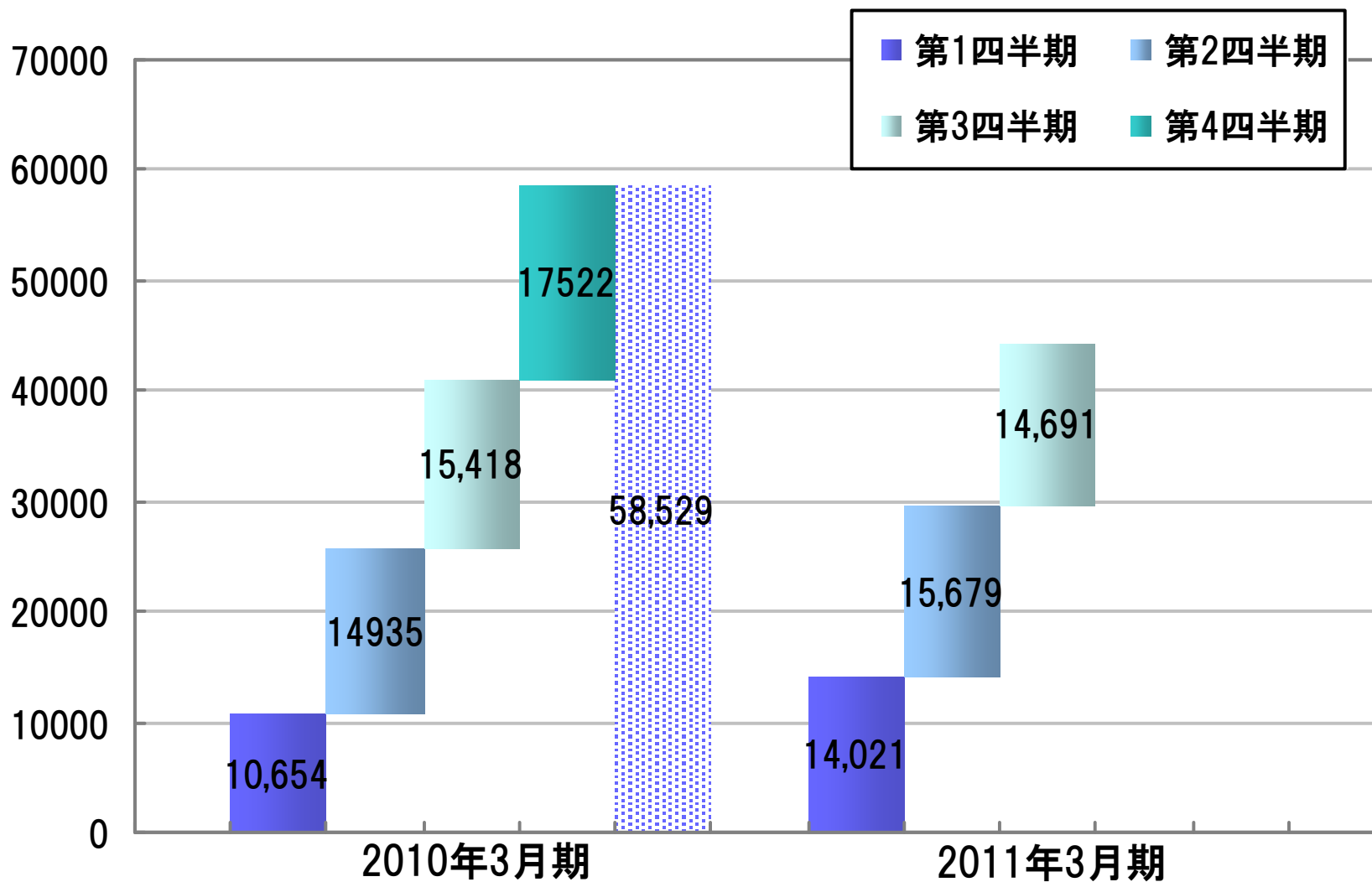
- ◆わが国経済は、次第に足踏み状況を呈す
- ◆当社主要ユーザである自動車関連企業においては、10月以降、自動車生産の減速感が強まりつつ推移
- ◆第3四半期業績は弱含みの動きだが、前年同期実績は上回る
- ◆通期は増収増益を見込む

2011年3月期第3四半期決算概要

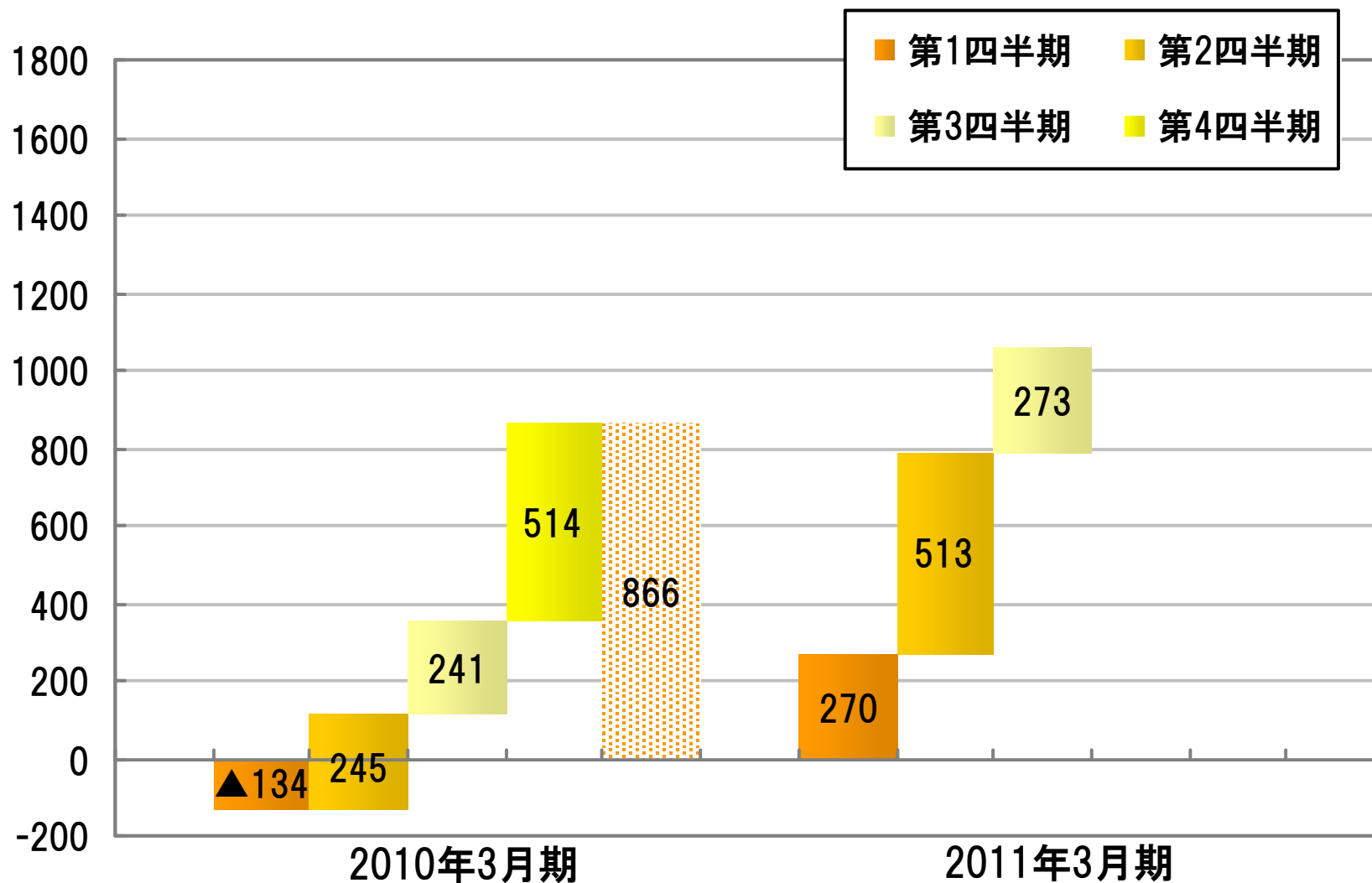
(単位:百万円)

	2010年3月期第3四半期		2011年3月期第3四半期			
	実績	売上高比	実績	売上高比	前年同期比	増減額
売上高	41,007	—	44,391	—	+8.3%	+3,384
売上総利益	3,528	8.6%	4,257	9.6%	+20.7%	+729
販管費	3,175	7.7%	3,201	7.2%	+0.8%	+26
営業利益	352	0.9%	1,056	2.4%	+199.8%	+704
経常利益	311	0.8%	1,018	2.3%	+226.4%	+707
当期純利益	145	0.4%	560	1.3%	+284.6%	+415

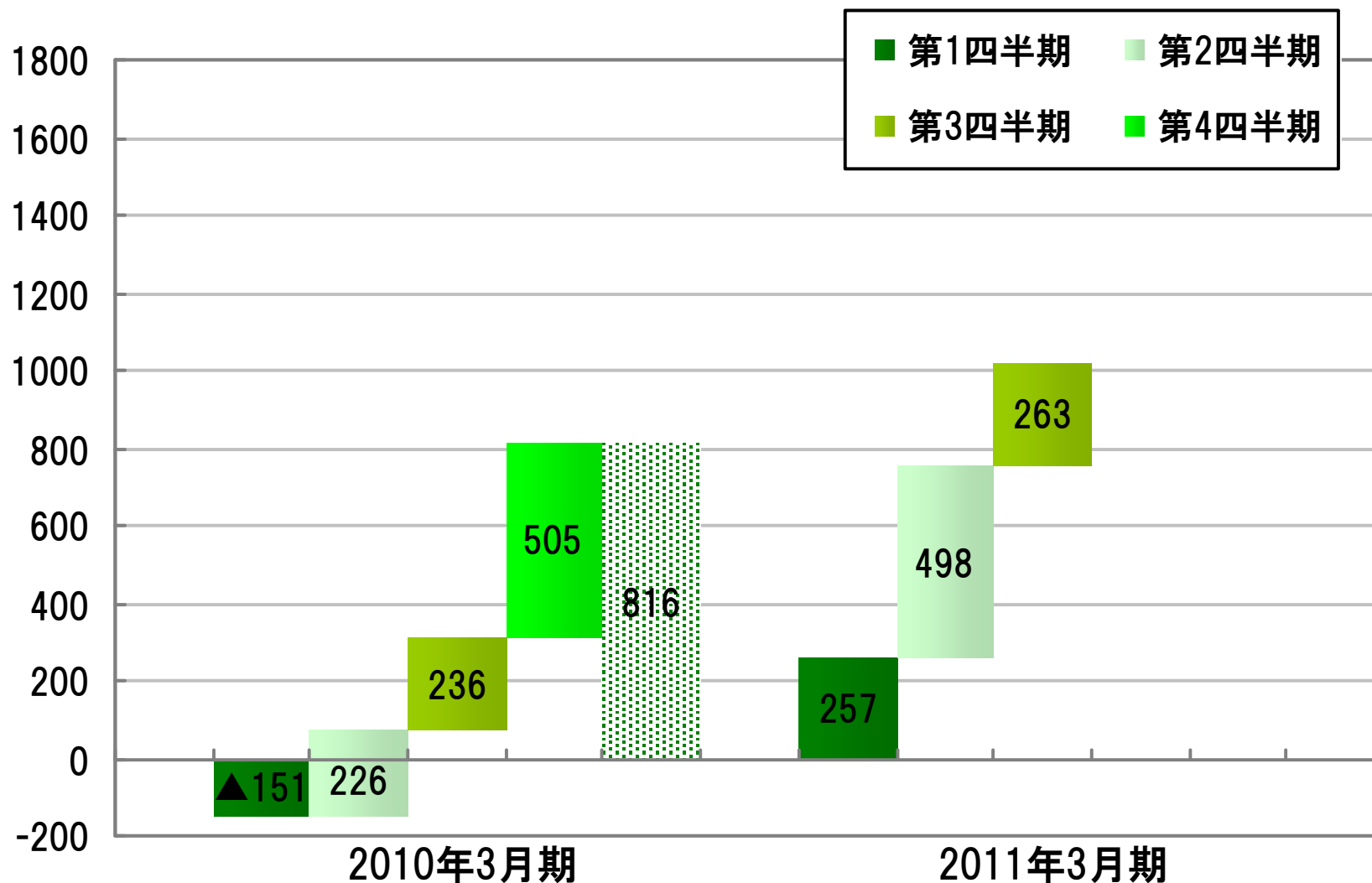
(単位:百万円)



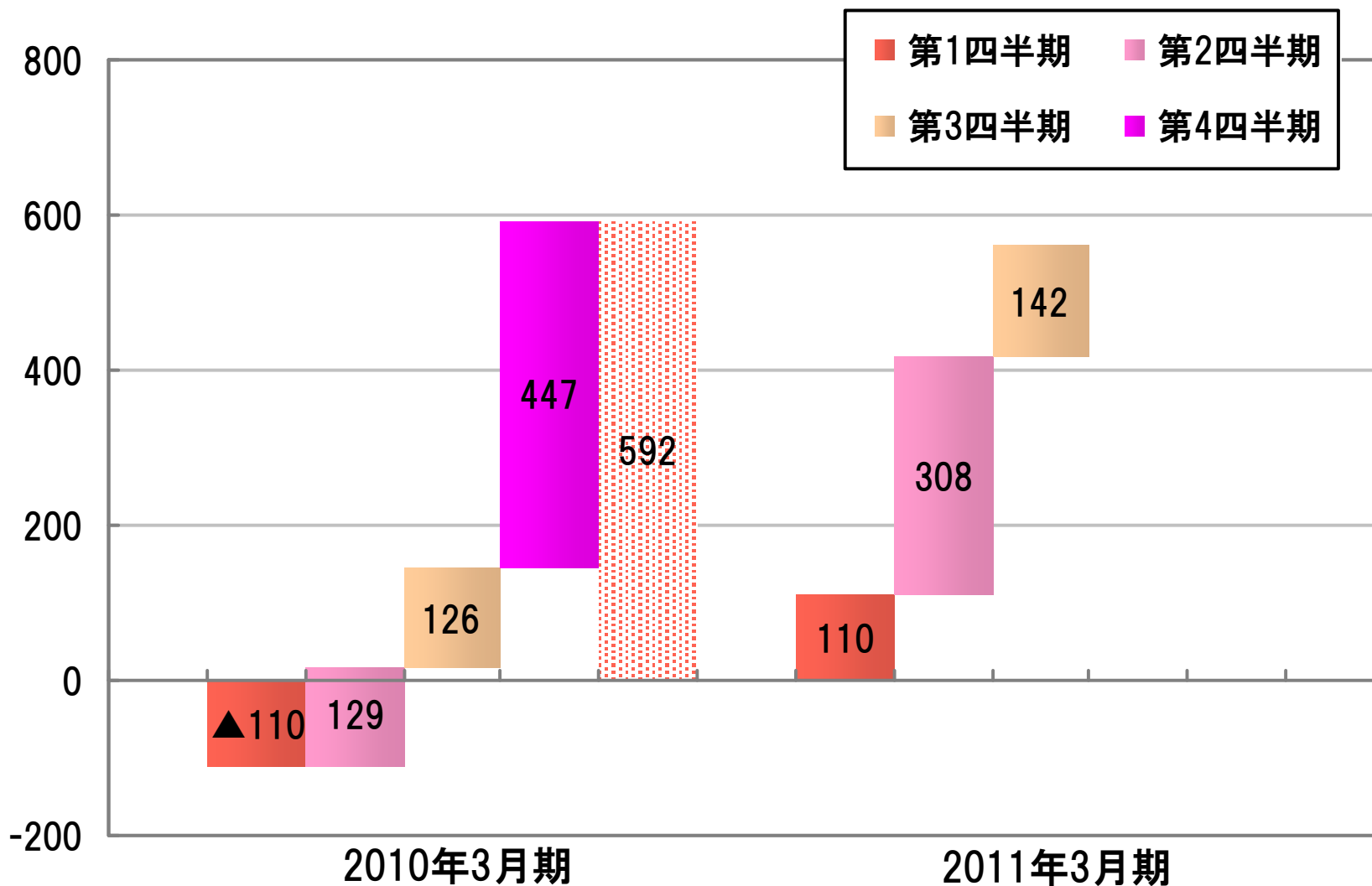
(単位:百万円)



(単位:百万円)

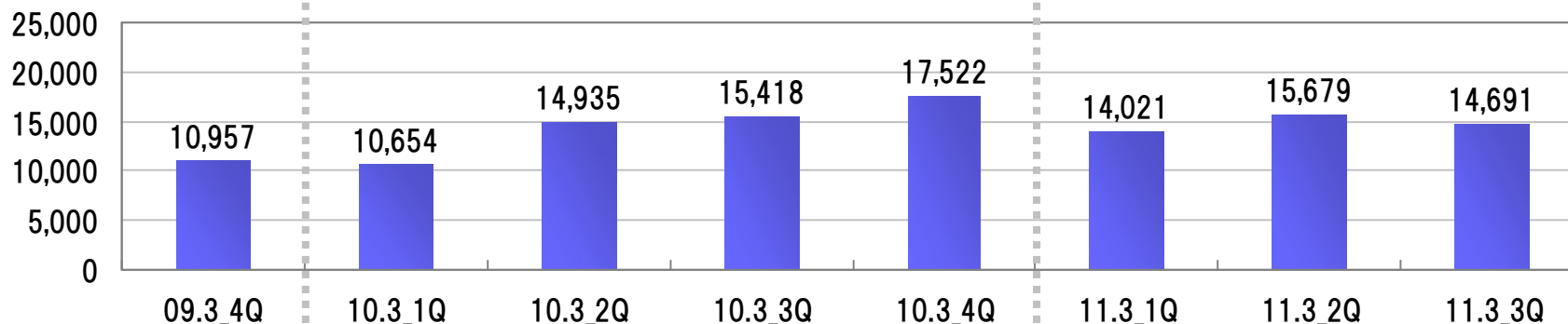


(単位:百万円)



売上高

(単位:百万円)

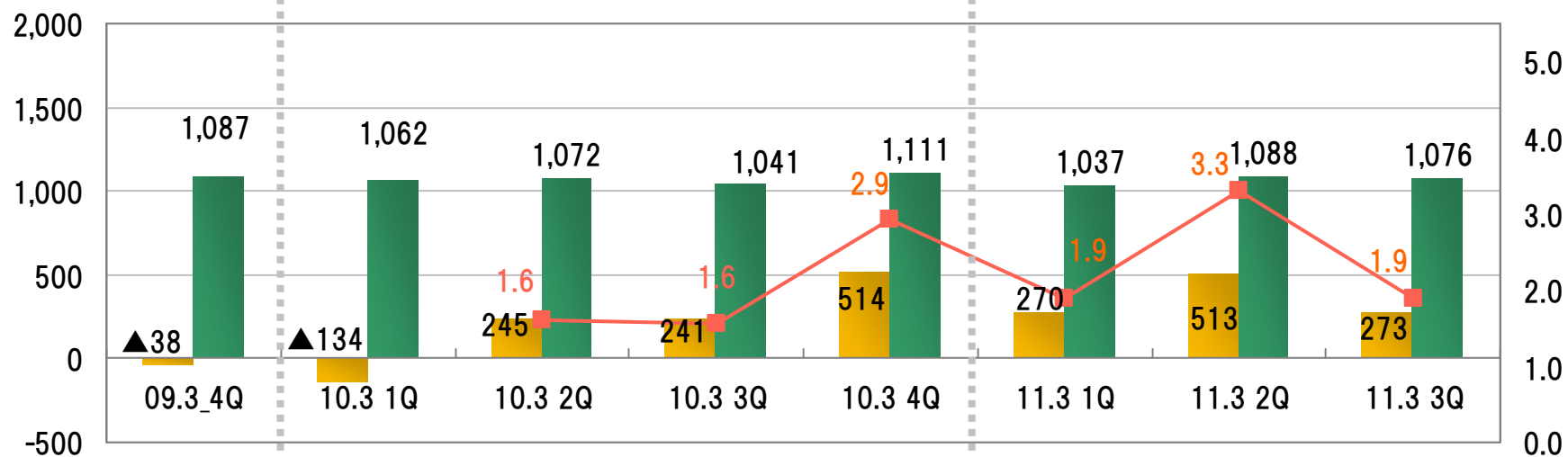


営業利益

販管費

営業利益率

(単位:百万円・%)



(単位:百万円)

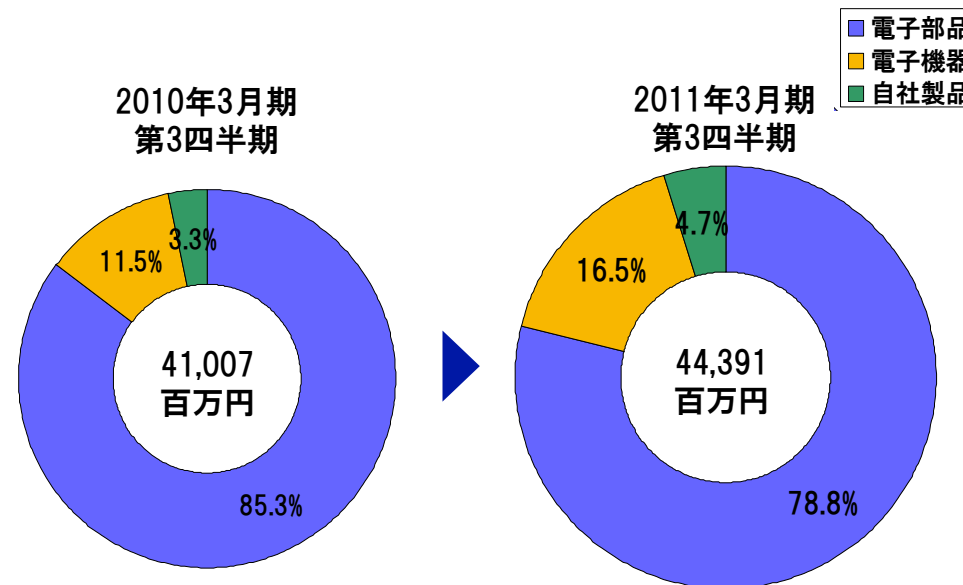
	2011年3月期第3四半期	
	売上高	セグメント利益
デバイスビジネスユニット事業	36,204	1,480
ソリューションビジネスユニット事業	8,186	256
調整額	—	▲680
合計	44,391	1,056

※セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用

※当第1四半期よりセグメント別実績を開示しているため、前期比較は行っておりません

(単位:百万円)

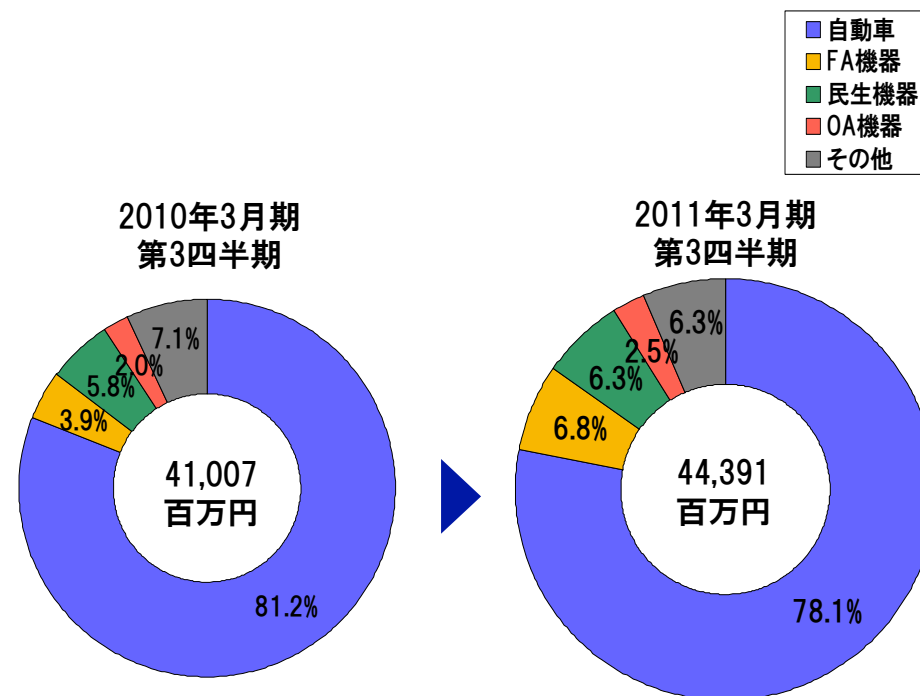
	2010年3月期 第3四半期	2011年3月期第3四半期		
	実績	実績	前年 同期比	増減額
電子部品	34,964	34,964	+0.0%	+0
電子機器	4,698	7,331	+56.0%	+2,633
自社製品	1,345	2,096	+55.8%	+751
合計	41,007	44,391	+8.3%	+3,384



電子部品	<ul style="list-style-type: none"> ◆自動車生産台数は第2四半期以降一転して減少傾向 ◆民生・OA用途向けに新規需要を取り込み
電子機器	<ul style="list-style-type: none"> ◆お客様の設備投資需要・情報化投資需要は慎重ながらも改善の動きあり ◆積極的なソリューション提案営業による受注獲得
自社製品	<ul style="list-style-type: none"> ◆主要なお客様である工作機械関連企業において海外向け需要を中心に回復傾向で推移

(単位:百万円)

	2010年3月期 第3四半期	2011年3月期第3四半期		
	実績	実績	前年 同期比	増減額
自動車	33,300	34,655	+4.1%	+1,355
FA機器	1,615	2,997	+85.6%	+1,382
民生機器	2,371	2,816	+18.8%	+445
OA機器	830	1,130	+36.1%	+300
その他	2,891	2,792	▲3.4%	▲99
合計	41,007	44,391	+8.3%	+3,384



(単位:百万円)

		2010年3月期末	2011年3月期 第3四半期末	
		実績	実績	増減額
	現金及び預金	4,846	3,356	▲1,490
	受取手形及び売掛金	18,267	16,949	▲1,318
	商品及び製品	3,757	7,378	+3,621
	その他資産	6,208	6,158	▲50
	資産合計	33,078	33,841	+763
	支払手形及び買掛金	9,409	10,179	+770
	短期借入金	2,100	2,100	+0
	長期借入金	3,875	3,575	▲300
	その他負債	1,589	1,536	▲53
	負債合計	16,973	17,390	+417
	純資産合計	16,104	16,451	+347
	負債・純資産合計	33,078	33,841	+763
	自己資本比率	48.7%	48.6%	▲0.1%

(単位:百万円)

	2010年3月期 第3四半期	2011年3月期 第3四半期	
	実績	実績	増減額
売上債権の増減額(▲は増加)	▲3,518	1,318	+4,836
たな卸資産の増減額(▲は増加)	566	▲3,745	▲4,311
仕入債務の増減額(▲は減少)	2,954	769	▲2,185
その他	274	635	+361
営業活動によるキャッシュ・フロー	276	▲1,023	▲1,299
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲260	44	+304
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲673	▲472	+201
現金及び現金同等物の期末残高	4,595	3,286	▲1,309

2011年3月期業績見通し

◆わが国経済は先行き不透明なまま推移

- ・円高をはじめとする景気の下振れリスク
- ・エコカー補助金など経済対策の反動減

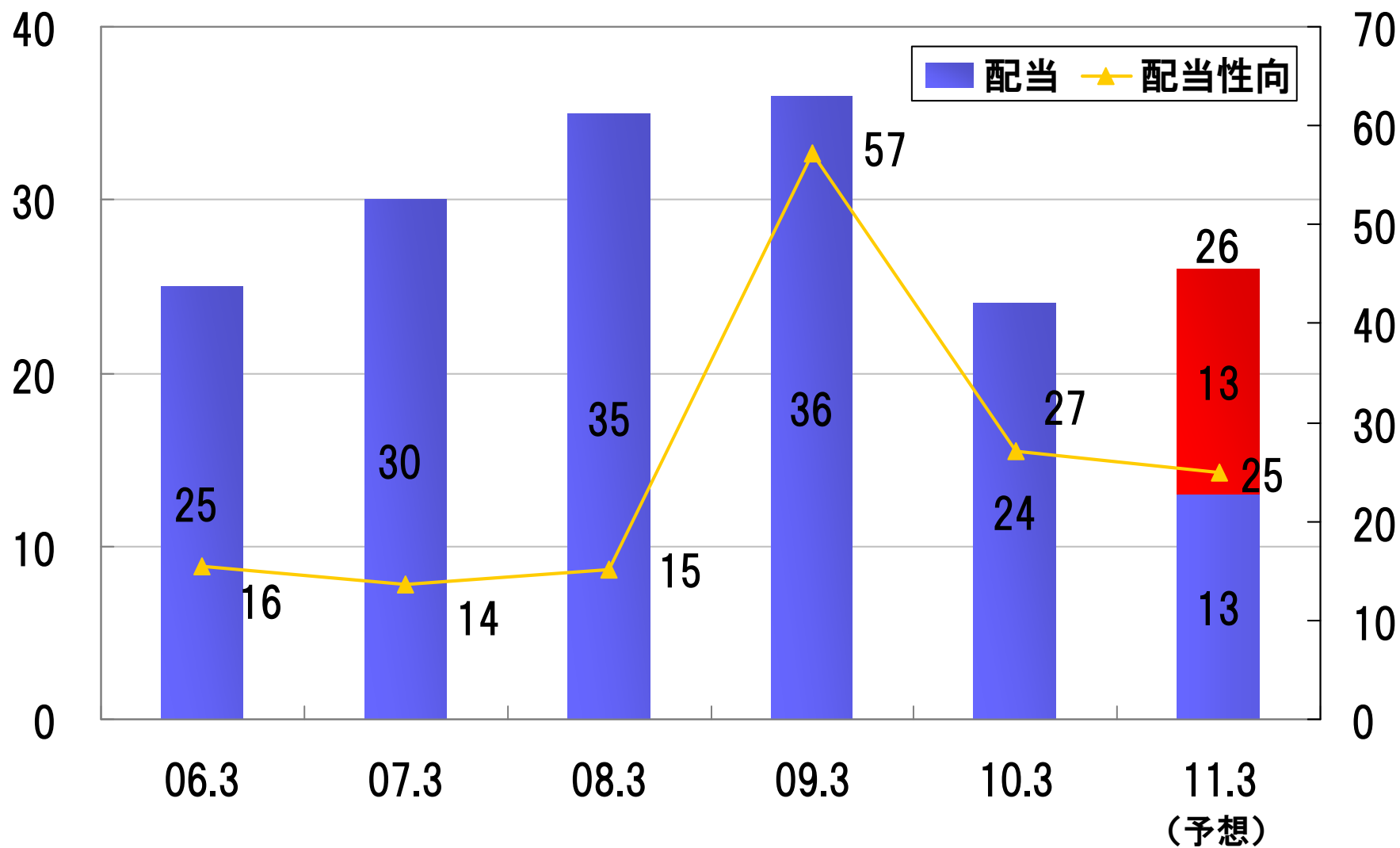
デバイス事業	<ul style="list-style-type: none">◆トヨタグループのグローバル生産台数は通期では前年比微増の見込であるが、エコカー補助金終了等により、下期は前年比減少見込◆地デジ関連は引き続き好調
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none">◆先行き不透明感により、慎重な設備投資、情報化投資が継続◆クラウドコンピューティングの導入が拡大
開発生産事業	<ul style="list-style-type: none">◆主要なお客様である工作機械関連企業においては、中国をはじめとする新興国の需要による押し上げ、先進国市場での需要拡大に牽引され、引き続き回復基調で推移

(単位:百万円)

	2010年3月期			2011年3月期			
	上期	下期	通期	上期	下期見通し	通期見通し	前期比
売上高	25,589	32,940	58,529	29,700	32,300	62,000	+5.9%
営業利益	111	755	866	783	617	1,400	+61.5%
経常利益	75	741	816	755	595	1,350	+65.3%
当期純利益	19	573	592	418	282	700	+18.2%

- ◆通期として増収増益確保の見通しだが、下期としては減収減益の見通し
- ◆他特約店からの事業の一部譲受けに基づく移管予定分を盛り込む
- ◆2010年11月12日発表の業績予想から変更はなし

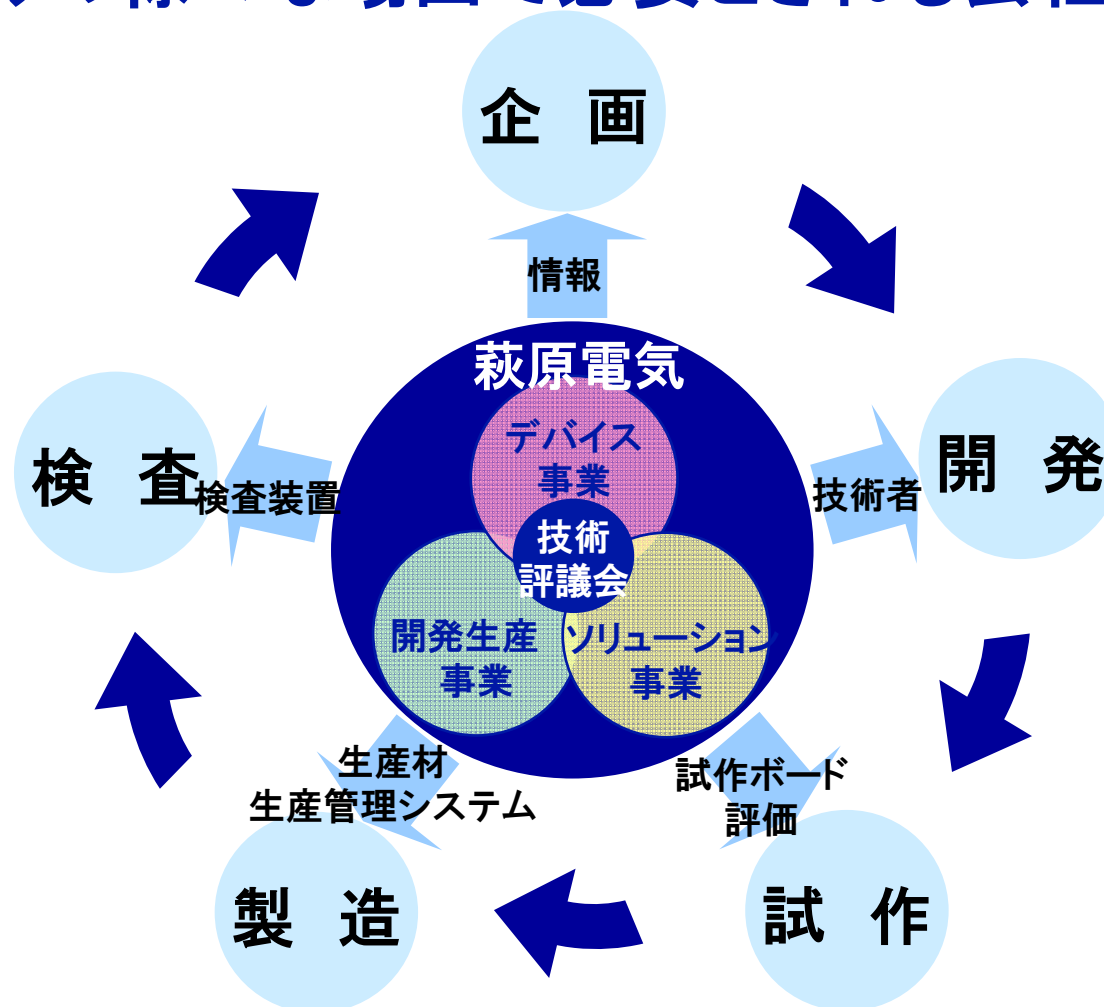
(単位:円・%)



今後の取り組み

- 当社の存在意義
～お客様のものづくりの様々な場面で必要とされる会社

当社の持つ経験と
ノウハウの融合により、
トータルソリューション
の創出が可能



経営ビジョン

**中部地区No.1の
総合エレクトロニクスソリューション企業
としての地位確立**

2016年3月期

売上高 1,000億円

営業利益 40億円

経営方針

コア事業はオートモーティブ

デバイスビジネスユニットは集中戦略
ソリューションビジネスユニットは全方位戦略

ルネサスエレクトロニクスとのリレーションシップ強化

ビジネスユニット間協業ビジネスの技術評議会による拡大

海外拠点の拡充

特約店16社に選定

2010年10月1日特約店契約締結

一部顧客において、旧ルネサステクノロジ製品の取り扱い開始

2011年1月～ デンソー、東海理化

商品ラインアップ拡大への対応

- ・営業・技術・業務人員の増強
- ・物流倉庫の拡大
- ・ITシステム整備
- ・海外拠点の拡充(検討中)

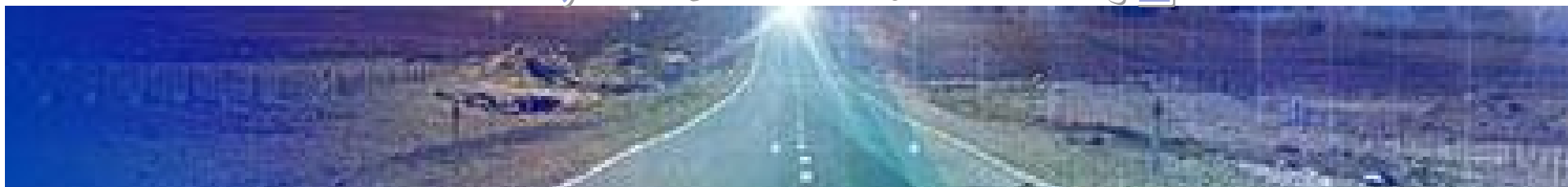


最重要事業として、迅速な体制構築と事業拡大



Create & Challenge

「創造と挑戦」



引き続きご支援ご鞭撻を
よろしくお願い申し上げます

本資料のうち、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基き当社で判断したものであります。
予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。